



庶民金庫の総代人

選挙戦愈々猛烈

各派対立の候補約四十名

信用組合平庶民金庫に於ける来る十三日の総代選挙が、既にして競走にありては、既報の如く今回の激戦は極めて複雑なる事情ありて、理事及び監事選任の資格を握る総代人は町内八ヶ所の選挙区から二十名を推すこととなつてゐる。同組合の近年は金融機關として異常の成績を上げ、あるに際し町内某富豪に係る六千圓事件なるものを惹起した。現役員を改めんとする一派に對する同支持派及び一部改正を主張する折衷派と厳正中立派の多種に分れて約四十名の立候補者を見るに至つた。此の中には破産せる銀行系の進出が最も濃厚で、委任状蒐集の暗躍にまじり、あるが其の特殊の機能に於て銀行に勝る諸町民一般の庶民的金融機關である同組合の將來に對し其結果好まじきものあるかを注目されてゐる。

看護婦應募者

殺到

係員も驚く
仙台北大附屬病院の看護婦採用試験は九日午前九時か、ら平野會館で行つたが早朝

郡内初巡視

大小十數餘の陳情

赤土内務部長陳情攻め

赤土内務部長は七日郡内初巡視を終つて八日歸郷したが、同部長の來郡を機に、玉川、兩村代表が名を藤原川堤防改修の陳情を願ひ出したのを初め、植田町から飯川、水復活、湯本町上水道及び湯川改修、補助、小名瀬港修築費復活、内郷、高野、柳村道の修築、四ヶ倉一久の消滅、南町、東道改修、町道補修、南町、東道改修

經濟代議士の任期と職能

別項所載平庶民金庫の總代人は組合員五十人以上に付き一名、五十人以上は五十人を増す毎に一名を加ふることとなつてゐるもので任期を三年

自動車の車体検査

廿五日から執行

平野管内自動車検査は廿五日から警中グラウンドで執行される

墜落惨死

元坑夫の奇禍

内郷村大字高坂字野九五居住秋田縣由利郡河内村生れ元坑夫三船惣太郎(四)は六日午後八時半頃泥酔して同村大字白水字白畑地内を通行中高さ一丈五尺の斷崖より墜落即死した

産業組合總會

産業組合石城郡部會では十六日午前十一時から平野各種團體事務所で開催、七年

平町豫算本會議

けふ一時から再開

休會明けの平町豫算本會議は本日午後一時から開かれた

家屋税委員會議

十五日頃召集

平町に於ける第一次家屋税調査臨時委員會議は十五日頃召集される

養正會演說會

立憲養正會支部では九日午後六時からマルトモ樓上で行はれる

不況に災ひされて

中等校志願者減る

深刻な不況のため中等校入學志願者は年々減少しつゝあるが、昨一年の入學難校と目されて毎年志願者の多いのを誇つてゐた町内の中等校も新入學どころか中途退學者の續出に頭を悩ましてゐる。始末で本年度も既に新學期生徒の募集を開始してゐるが、警中男女ともに志願者申込も頗る閑散で締切日の十五日もあと數日を余すのみとなつた。現在の所では約二百名足らずでこの分では今年も未嘗有の志願者減を見るのはあるまいかと云はれてゐる。商業學校の願書締切は廿五日頃であるが、今日までの應募者は僅かに十名に過ぎず、又例年にならぬ減少を見るものと観測されてゐる。尙斯くの如く志願者の減少を來したのは不況によるところが最も大きいと多方志願

農事實習生

今月中旬締切る
縣農試有城分場では本年度農事實習生を募集するが、希望されることとなつた

一分園から二圓宛

平町青年團の愛國機庫金

平町青年團幹部會は八日午後七時から平庶民金庫樓上で開催、愛國機庫建設資金として町内一分園より金二圓以上を献金することに決定

十二日會

長久保氏講演

平町十三日會は十三日午後七時からマルトモホールで開催、磐城炭礦技師長久保超氏の「石城郡の温泉脈に就いて」と題する興味ある講演がある

警中軍事講演

警中では十日の陸軍記念日に午前十時から配屬將校八谷少佐の「科學の進歩と現代の兵器」と題する講演がある

教員檢定試験

四月十九日から
石城郡に於ける本年度小學校教員檢定試験は四月十九日から五日間平野第一小學校で執行

俳句

満壽莊主人

梅が香や夕霞の家も眺かる
と昔子共角の吟詠味ふべき
季節となりました。疎影横斜水清淺の趣きを直ちに採りて、唯急に梅ごとく斜なりと翻案したる子規先生の手腕、讀者は十五日頃までに申込まれたい

各方面の申込殺到

博覽會氣分漲ぎ

平野博覽會の昭和産業博覽會は開期もあと三旬の日に迫つたので、会場諸建築物の工事を急いでゐるが各方面より出品、會場使用申込など連日の如く殺到し、前人氣頗る盛んで、平野でも會期中の乗降人員豫想を立て、準備おぼさき怠りないが、同会場には既報の如く軍部後援の戦時武器標本などの外、満洲軍變上海事件の實況パノラマを陳列して一段の興味を喚ぶ筈であるが、この外、磐城炭礦よりは動力利用の石炭採掘(コルカタ)實

高野四郎公判

昨十一月廿三日平野町裁判

昨十一月廿三日平野町裁判、店佐藤家こと佐藤三(五)を殺害せんとした平野町高野四郎(三)に對する殺人未遂事件公判は九日午後二時から平野支所で開かれた

故に愛國の志士たる諸君は、如何なる手段を以てしても目的の遂行に努められん事を諸君に衷心より願ひして此の壇を下りませう、
中野正剛氏

に敬服すると共に暗香、動月の季候につれしそるころなるべし去りとは恨めしき俗事かな日毎身邊に集して、月よ梅上酔のこんにやくのと今日も過ぬ、一茶
とあだに過す日の重なりて思ひ切つて梅見に出ん日こそなき
と諦めざるを得ざるに及びぬ、されば梅の俳句を並べ記して机上の海見洒落のめさんも又一興なるべしとてなん筆のまにまに書きつけました



書入時に臨む

病害虫の 驅除豫防 (四)

農試本場 伊藤技師

そんな麥を抜いて見ると根は枯れて居るも其の根元には無数の暗かつ色のうじがゐる筈であるから、そんな麥に對しては簡易乳劑の二十倍液を麥の根元に撒布しうじが苦しがつて匂ひ出して来たなら更に簡易乳劑の十五倍液を撒布して驅殺するのである

麥のウドンコ病、厚膜にして麥や窒素肥料を多用して麥に發生する病害であつて木病に犯された麥は全部が色が褪せて来て直ぐわかる、そして内の方を見ると白いかびが澤山生えてゐる、かゝる麥は其のままにして置くと次から次へ傳染して麥の生育を害するから早速土入を施して株張りをよくしてやり、之れに石灰、硫酸合劑のボーメー比重零、五度を撒布すれば防ぐことが出来る

果樹類

桃の縮葉病、桃の葉が膨れて落ちる病害であつて昨年は各地に大發生を見たのであるが此の病害は膨れて落ちた葉の裏に白色の胞子が出来てゐて夫れが飛散して桃の葉の所に潜伏して居り桃の發芽したばかりの軟かい部分から浸入するのである、木病の豫防としては桃の發芽前に其の胞子を殺すことが必要であつて發病してからでは藥劑撒布をしても無駄である、即ち月初めに介殼虫の驅除を兼ねて石灰

硫黄合劑のボーメー比重五度液を撒布して越冬胞子を殺し更に桃の開花直前に於て三斗式石灰ボルドー液を撒布するのである

印刷物は「彩麗なポイントにて長く安く早く」

一級の御注文に應じます

平町大町

新しいわき印刷部

ガソリン

モビール油

日本石油株式會社

特約販賣

屋間油 店商内關

〇四六六一長話電平城磐

病の最新藥

美神 一週分四・五〇

淋藥 二週分八〇〇

平町 山野邊藥局

交流丸

納骨堂式 (碑 銅)

一、納骨堂式銅碑は前面の定紋を左右に廻轉せば原が閉閉式になつておて中に戒名か又は遺骨過去帳等を安置し得る様になつて居ります

一、當工場製作の納骨堂式銅碑は多年苦心研究の結果考案したもので日美術的鑄造品であります

一、青銅の効果は申す迄もなく古來よりの鑄造物を見ても明らかで何千年の昔鑄造した奈良の大佛の如き細字の彫刻も決して腐蝕損の憂なく永久保存に堪へるのであります

一、當工場は是れを博く皆様に御褒め致し價格は奉仕的實費で多量製作致します

一、型は如何なる設計にも御注文に應じますから御遠慮なく御照會を願います

福島縣平町七丁目

工藤鑄工所

債券、公債、兩替、金融

多田井質店

平町大工町

電話五九二番

赤玉印

フトン袋

御類似品有赤玉印に注意を願います

松印 夜具五入枚

竹印 夜具七拾錢

梅印 夜具二枚入

三重蓋 夜具貳枚入

四重蓋 夜具拾錢

各種陳列目下 賣出し中!

平町三丁目

電話三五九

藤田女學校生徒募集

一、本科 科 五十名

二、裁縫專修科 百 名

三、師範科 三十名

四、專攻科 二十名

五、本科、裁縫專修科、二年編入若干名

(新設)選科(夜間部)五十名

右希望者ハ至急願書提出ノコト 詳細ハ本校宛學則請求セラルベシ

昭和六年三月

福島縣平町町

文部大臣 認 可 藤田女學校

電話三二八番

入院需應

藤沼醫院

電話五〇七番

平町

外科 小兒科 梅毒 淋病

市原醫院

平町

電話一四一

模範 裁縫

高島屋洋服店

平町驛前 電話三八六番

冬服の 御用命は 高島屋へ

新柄着荷

お方入學進級の御用意

子帽

靴

ルセドンラ 下靴

ヤルツ

總革製 七十八錢

九十錢

一圓卅錢